



平成 24 年 2 月 27 日

各 位

大阪市北区堂島浜二丁目 2 番 8 号 東洋紡ビル

ヴィンキュラム ジャパン株式会社

代表取締役社長 瀧澤 隆

(JASDAQ・コード番号: 3784)

問い合わせ先 管理部長 西條 直樹

TEL 06-6348-8951

クラウド型「顧客情報システム」の開発について ～東芝テック株式会社との共同開発～

流通・サービス業向けパッケージ・ソフトウェア開発などを行うヴィンキュラム ジャパン株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役：瀧澤 隆、証券コード 3784、以下「VJC」）は、東芝テック株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役：鈴木 護、証券コード 6588、以下「東芝テック」）との間で、POSシステムと連動するクラウド型「顧客情報システム」の共同開発に着手し、開発完了後、量販店向けソリューションとして 2012 年秋に発売を予定しております。その後、各種業態別のシステム（専門店、ショッピングセンター、飲食店向け）を順次発売する予定です。

VJCは、これまでCTCP（Consumer Transaction & Communication Platform）のコンセプトの下、POSを起点としたローコストで効果的なONE-TO-ONEマーケティングをCRMパッケージ「Satisfia®」（サティスファ）にて実現してまいりました。

現在開発中のクラウド型「顧客情報システム」は、「Satisfia®」にて培ったノウハウを基にオープンソースを活用したシステムに全面刷新するものであります。サーバーの設置形態に応じて「クラウド型」と従来の「オンプレミス型（自社設置型）」を選択できるほか、POSシステムと連動することによって、販促企画の状況が一目でわかる販促カレンダー機能を搭載するなど、ユーザーに対してビジュアルでわかりやすい分析結果を提供し、店舗ごとの顧客戦略の立案・実施をサポートいたします。また、ユーザーからの幅広いニーズに対応できるように、各種業態別に個人商店から大規模チェーン店舗に至るまで、会員数や取扱データ量に応じたきめ細かいサービスをクラウド環境下でさらにローコストで効率的に実施することが可能です。

クラウド型「顧客情報システム」は、POS連動プロモーションに強みを有し、スーパーマーケットで豊富な実績がある東芝テックとの共同開発によるものです。東芝テックとの間では、2006 年にVJCのオープンPOSパッケージ「ANY-CUBE®」（エニーキューブ）が同社製のPOS端末に搭載されて以来、協業を進めてきましたが、この度、さらに両社の強みを活かせる業務連携の一環としてクラウド型「顧客情報システム」の共同開発に至りました。

なお、クラウド型「顧客情報システム」に関しましては、2012 年 3 月 6 日（火）より東京ビッグサイトで開催されます流通情報システム総合展「リテールテック JAPAN 2012」におけるVJCブース内に参考展示いたします。

【クラウド型「顧客情報システム」の特長】

1. システム運用形態の選択が可能

- (1) 信頼性の高いデータセンターを利用する「クラウド型」の他、従来の「オンプレミス型（自社設置型）」も選択可能
- (2) 各種業態別に個人商店から大規模チェーン店舗に至るまで、会員数や取扱データ量に応じたサービスをクラウド環境下でさらにローコストで効率的に実施可能

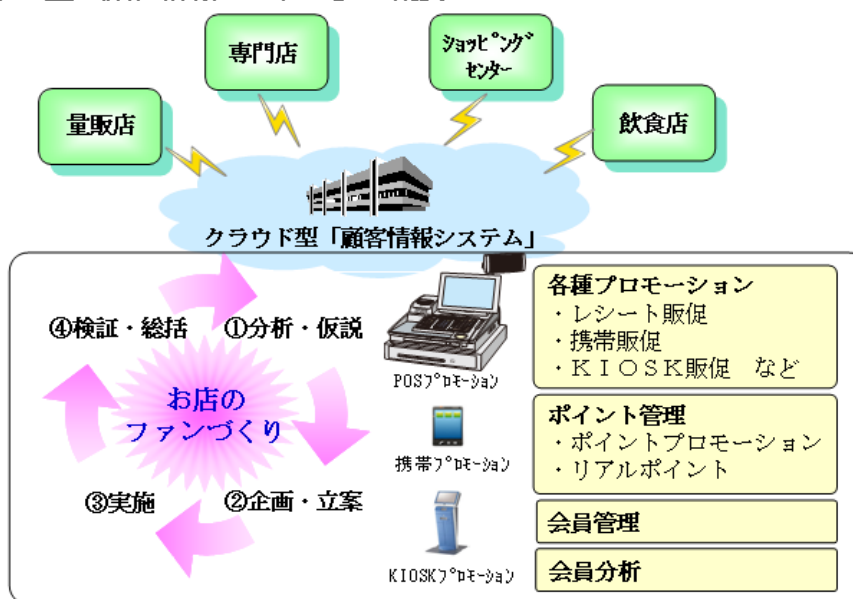
2. わかりやすい分析結果と円滑なPDCAサイクルへの活用

お客様の来店や商品購入を促す各種プロモーション機能を搭載し、ビジュアルでわかりやすい分析結果のスピーディな提供により、店舗ごとの顧客戦略の立案・実施をサポート

※機能例

- ①販促企画の状況が一目でわかる販促カレンダー
- ②店舗を統括する本部で設定・実行が可能なPOSレジポイントプロモーション
- ③画像印刷により高い訴求力を有するレシート販促
- ④携帯電話やKIOSK端末（セルフサービス型情報端末）を活用したプロモーション

クラウド型「顧客情報システム」の概要



<本件に関するお問合せ先>

ヴィンキュラム ジャパン株式会社

プロダクト事業部 クラウドサービス部 藤川

TEL : 06-7652-3033

営業部 東日本営業グループ 木内

TEL : 03-3846-5467

管理部 経理財務グループ 竹村

TEL : 06-6348-8964

以 上